国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

総務省　文部科学省　農林水産省
経済産業省　防衛省　同時発表

令和２年４月９日
総合政策局公共事業企画調整課
大臣官房公共事業調査室

第４回インフラメンテナンス大賞の応募期間を延長します
～令和２年５月２９日（金）まで～

国土交通省は、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、防衛省とともに「第４回インフラメンテナンス大賞」の募集をしているところですが、新型コロナウイルス感染拡大予防等の状況に鑑み、応募書類作成の期間を確保するために、応募締め切り日を、令和２年４月１３日（月）から同年５月２９日（金）に延長いたします。

引き続き、皆様からのご応募をお待ちしております。

【第４回インフラメンテナンス大賞　応募期間】
応 募 期 間 ：令和２年２月１４日（金）～令和２年５月２９日（金）
※応募方法等に変更はありません。

インフラメンテナンス大賞は、日本国内の社会資本のメンテナンス（以下「インフラメンテナンス」という。）に係る優れた取組や技術開発を表彰するものです。表彰により、好事例として広く紹介することで、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的として実施するものです。

＜応募概要＞ ※詳細は、「応募要領」（別添１）をご確認ください。
応 募 期 間 ：上記のとおり
応 募 方 法 ：web フォーム又は郵送にて提出
今後の予定：応募締切後　　審査開始
令和２年秋頃　　受賞者決定
令和２年冬頃　　表彰式

下記 HP にて、過去の受賞者の取組概要や第４回応募要領等をご覧頂けます。
http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03_award.html

＜問い合わせ先＞
国土交通省総合政策局公共事業企画調整課　五十嵐、幕内
TEL：03-5253-8111（内線24563、24524）、03-5253-8912（直通）、FAX：03-5253-1551

別添１

第４回インフラメンテナンス大賞

応募要領

令和２年２月

1　インフラメンテナンス大賞の趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国の大臣賞にインフラが直面する老朽化やその対策に必要となる担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を顕彰することで、我が国のインフラの機能の維持を目指すものです。

2　表彰の対象

以下のア～ウの３つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者を表彰します。

ア　メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（ウに該当するものを除く）

イ　メンテナンスを支える活動部門

アの取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（ウに該当するものを除く）

ウ　技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法（点検・診断技術、モニタリング技術を含む）、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

※本表彰でいう「インフラ」とは、別表に掲げるものをいいます。

※本表彰でいう「メンテナンス」とは、インフラの点検、診断、措置（維持、補修、修繕、改良、補強）、災害発生の防止等の維持管理、運用管理、更新及び撤去を戦略的（合理的、体系的、規則的又は継続的）に実施する行為のことをいい、被災後の復旧のみや、料金徴収のみの業務は含まれません。

3　応募条件

（1）応募する取組や技術開発を行った者が自ら応募してください。また、大賞事務局との連絡窓口となる連絡担当者を定めてください。

（2）活動グループ（個人、施設管理者、企業、団体等から構成されるグループ）は同一の企業、事業所、部署等に所属している必要はありません。取組を担当した者又は代表する者７名以内を応募者としてください。また、表彰式等において代表する者（１名）を応募者の中から定めてください。

（3）応募する取組や技術開発は、別表に記載する分野の実績を有することを条件とします。実績の時期は問いませんが、過去数年に実績が無い場合は「継続性」や「メンテナンス分野への波及効果、影響」の評価に影響する場合があります。

（4）応募する取組や技術開発が、別表に示す分野の複数にまたがる場合は、最大３分野（主分野１つ、副分野２つ）まで応募することができます。

（5）同一の応募者が複数の取組や技術開発に応募することは可能です。

（6）過去に本賞を応募した取組や技術開発についても、前回の応募時のものと比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合（取組継続期間の延長も含む）には、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。

4　受賞に必要な資格

（1）受賞者及び受賞者が属する企業・団体等の国籍は問いません。

（2）既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

（３）受賞者の著しい偏りを防ぎ、幅広く受賞機会を確保する観点から、同一の代表者が複数の賞を受賞をすることはできません。また、国家公務員のみで構成される場合は、受賞対象となりません。

（４）受賞した応募内容を開示することについて問題が無いことを条件とします。

（５）応募内容については、他の特許等を侵害していないこと、又は係争中でないことを条件とします。

（６）禁固刑以上の刑歴を有する場合及び社会通念上不適切と思われる場合は受賞対象から除外します。

5　審査及び表彰

有識者で構成される選考委員会を設置し、選考委員会での審査を経て、受賞者の選考を行います。審査・選考にあたっては、取組や技術開発の開始時点又は現時点までにおける次の評価項目とその評価の視点に基づき、総合的に審査します。ただし、大臣賞は主分野としての応募案件から、特別賞及び優秀賞は主分野又は副分野としての応募案件から選考します。

（評価項目）

① 着眼点

革新性・独創性

② 取組姿勢

積極性・継続性

③ 効果※

生産性・効率性（業務効率、性能・品質、安全性、コスト縮減等）

地域貢献度（インフラ荒廃の防止、地域特性の活用、地域発展や地域コミュニティ維持への貢献等）

④ 外部効果

メンテナンス分野への波及効果、影響（異分野参入、メンテナンス産業の活性化、担い手育成、理念普及、先導的役割、学術・技術の向上、メンテナンス分野における広い普及、幅広い応用）

※評価項目③については、応募内容に応じて、評価項目「生産性・効率性」、「地

域貢献度」のいずれかを応募者が選択の上、応募していただきます。

なお、受賞案件の数は以下のとおりです。

総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、防衛大臣賞：原則各省別の部門ごとに１件（計２１）件)、及び全部門から情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞１件、計２２件以内

特　別　賞：大臣賞に準ずるものとして特に表彰すべき取組・技術開発がある場合に原則７件以内。

優　秀　賞：特別賞と合わせて最大２８件程度。

6　応募方法

（１）応募書類等

応募にあたっては、所定の応募書類等を作成していただく必要があります。

【WEB フォームよりエントリーする場合】

以下のホームページよりログインの上、フォーム上にて作成ください。

ホームページ：https://www.im4-award-form.jp/

【郵送によりエントリーする場合】

以下のホームページより所定の書類をダウンロードをお願いいたします。

ホームページ：http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000235.html

なお、受賞者には、広報用のプレゼンテーション資料を提出いただきますので、ご了承願います。

（２）応募書類等の提出

応募方法は２通りございます。

【WEB フォームよりエントリーする場合】

WEB フォーム上にてデータ作成、登録をお願いいたします。

【郵送によりエントリーする場合】

所定の応募書類等について、下記に記載のとおり、応募専用アドレスに電子メールにて送付いただくとともに、下記の送付先まで郵送で送付してください。

なお、提出された応募書類等は返却いたしませんので、ご了承願います。

提出物は以下のとおりです。資料はすべてＡ４判としてください。

［電子メールで送付する資料］

（１）応募様式の電子データ（ＰＤＦ形式及び Excel データ）　各１部

様式―１（応募申請書）

様式―２（取組概要）

様式―３（応募者情報）

様式―４（取組詳細）（共通）

様式―５（取組詳細）（技術）※技術開発部門に応募する場合のみ

様式―６（取組詳細）（その他）

様式―７（再応募関係資料）　※過去に応募した取組が含まれる場合のみ

様式―８（応募要件確認書）※押印無しのデータで構いません

［郵送する資料］

（１）応募様式の紙媒体　各２部

電子メールで送付した各様式

（様式―８については署名、押印された紙原紙）

（２）応募様式の電子データを保存した記録メディア　２部

※（２）の記録メディアはＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ、Windows 対応

（３）その他

ア　応募に際して手数料等はかかりません。ただし、郵送の場合、送料は応募者の負担とさせていただきます。

イ　郵送の場合には、簡易書留又は宅配便にて郵送してください。

ウ　提出された書類に不備がある場合、審査対象から除外する場合がありますのでご注意ください。特に、社外秘等のいかなる理由であっても、記載を求める項目・内容について記載の無い場合は書類に不備があるとみなされる場合があります。

エ　郵送中の事故や通信障害等で応募書類が届かない等の問題が発生した場合についても責任を負いかねます。

オ　応募者が応募を行ったことにより被った損失・損害については責任を負いかねます。

カ　応募書類は日本語で記載してください。

キ　受賞候補者の審査にあたって、書類内容の確認、追加資料の提出のお願いなど、事務局から応募者に対して連絡をさせていただくことがあります。

ク　応募書類に記載する文書、図表、写真、イラストなどは著作権等に留意し、使用許可が発生する場合は、応募者の責任において必ず許可を得てください（他者の著作物を引用する場合などは出所を明示してください）。

ケ　受賞者発表前の候補者に関するお問い合わせや審査状況に関するお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

【郵送によりエントリーする場合の応募書類の提出先】

郵送によるエントリーの場合は、必ず所定の応募書類等について、下記に記載のとおり、応募専用アドレスに電子メールにて送付すること。

応募専用電子メールアドレス：hqt-maintenance-taisho@ml.mlit.go.jp

※送信するメールの件名は、「第４回インフラメンテナンス大賞の応募」としてください。

※送付するメール１通あたりの容量は５メガバイト以内としてください。

※連絡先として、メールに企業、団体等名、所属名、担当者氏名、電話番号、メールアドレスを記載ください。

【郵送による資料送付先】

〒100-8918
東京都千代田区霞が関 2-1-3
国土交通省　総合政策局公共事業企画調整課 インフラメンテナンス大賞担当 宛
（ＴＥＬ）０３－５２５３－８９１２
※上記への持参も可。

7　応募期間

２０２０年2月１４日（金）から２０２０年5月２９日（金）までとなります。

※郵送の場合、応募期間中に必着。

※持参の場合、応募期間最終日の 18:00 までに持ち込み。

8　受賞者の発表・表彰式

（1）受賞者の発表

受賞者の発表は２０２０年秋頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

（2）表彰方法

受賞者に対して表彰式を行います。受賞者に対しては、表彰状及び楯の授与（表彰状：受賞者に１枚（複数の企業、事業所、部署等から成る場合は連名）及び受賞者の構成員全員に１枚ずつ（原則、個人名宛）、楯：取組や技術開発に対して１つ）を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

なお、表彰発表後に禁固刑以上の刑に処された場合及び社会通念上不適切と判断される状況が明らかとなった場合は、受賞を取り消し、表彰状等は返納することとします。

（3）受賞後の広報・ＰＲ等

受賞者の方には、受賞後の広報・ＰＲ活動、各種イベント等へのご協力をお願いすることがありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

国土交通省　総合政策局公共事業企画調整課　インフラメンテナンス大賞担当

E-Mail：hqt-maintenance-taisho@ml.mlit.go.jp

※原則、上記 E-mail にてお問い合わせください。

これにより難い場合は、下記電話又はＦＡＸにてお問い合わせください。

（ＴＥＬ）０３－５２５３－８９１２

（ＦＡＸ）０３－５２５３－１５５１

受付期間：２０２０年2月１４日（金）～２０２０年5月２９日（金）

（土・日・休日を除く平日の 9:30～17:00 までとします。ただし 12:00～13:00 は除きます。）

別添2

第4回インフラメンテナンス大賞　応募書類　作成要領

■各資料の作成要領

1　応募申請書（様式―1）（1枚）※1

①【連絡担当者】欄には、応募にあたっての事務窓口・連絡担当の方1名（応募者以外の方でも可）を記入してください。

②【応募者名】欄には、取組や技術開発の応募者（個人又は個人施設管理者、企業、団体等から構成された活動グループ）を記入してください。受賞の場合、表彰状の宛名になります。活動グループで連名を希望する場合は「～ほか」と記入してください。

③【応募する取組名】欄には、取組や技術開発の内容や特徴をわかりやすく表す名称を簡潔に（40字以内で）記載してください。

2　取組概要（様式―2）（1枚）※1

①各記載欄の記載要領に沿って記載してください。

②応募する分野を実績のある分野から最大3つ（主分野1つ、副分野2つ）選択してください。

3　応募者情報（様式―3）（1～2枚）※1

①「代表者」の欄には、応募者を代表する者の情報等を記載してください。代表者は、受賞時に冊子、パネル等への代表者として記載されるとともに表彰式当日の表彰状の受取等の役割を担います。（なお、代表者は実際に取り組みを行った者とします。）

②「グループの場合の代表者以外の構成員」の欄には、代表者以外の活動グループの構成員（代表者を除き6名まで）の氏名等を記載してください。（なお、構成員は実際に取り組みを行った者とします。）

③各記載欄の記載要領に沿って記載してください。

4　取組詳細（様式―4）（3枚）※1

①各記載欄の記載要領に沿って記載してください。

②使用する文字の大きさは10ポイント以上としてください。

③【概算費用について】欄には、当該の取組や技術開発に要した概算費用を記載してください。

5　取組詳細（様式―5）（1枚）※1

各記載欄の記載要領に沿って記載してください。

6　取組詳細（様式―6）（1枚）※1

記載欄の記載要領に沿って記載してください。

7　再応募関係資料（様式―7）（1枚）※1、2

過去に応募された取組を含むものについては、記載欄の記載要領に沿って記載してください。

8　応募要件確認書（様式―8）（1枚）※1

①必要事項を記載し、署名、押印してください。

②代表者は、様式―3の代表者と同一としてください。

9　その他

①応募書類は日本語で記載してください。日本語で記載されたもののみを審査対象とします。

②本応募書類の情報を元に、受賞者の方の広報資料等を作成・公表することがあるので、ご了承願います。

③受賞者にはプレゼンテーション資料（動画も可）の提出を依頼しますので、受賞された場合はご対応願います。

■応募書類等の一覧※1

応募書類等	応募部門		
	ア　メンテナンス実施現場における工夫	イ　メンテナンスを支える活動	ウ　技術開発
様式－1（応募申請書）	○(1)	○(1)	○(1)
様式－2（取組概要）	○(1)	○(1)	○(1)
様式－3（応募者情報）	○(1～2)	○(1～2)	○(1～2)
様式－4（取組詳細）（共通）	○(3)	○(3)	○(3)
様式－5（取組詳細）（技術）	－	－	○(1)
様式－6（取組詳細）（その他）	○(1)	○(1)	○(1)
様式－7（再応募関係資料）	○(1)※2	○(1)※2	○(1)※2
様式－8（応募要件確認書）	○(1)	○(1)	○(1)

※1　()内は提出資料の枚数。ただし、実績等の必要事項を記載するために枚数を追加する場合はこれに限りません。

※2　様式－7については、過去にご応募された方のみ提出してください。

第４回インフラメンテナンス大賞　応募様式－１
応募申請書

令和　　年　　月　　日

【連絡担当者】

・連絡担当者は、書類内容の確認や質問、受賞時等の窓口の方のことで、確実に連絡が可能な電話番号・メールアドレスを記載してください。なお、様式－３の応募者と別に定めていただいても結構です。

住所	〒　　－
（よみがな）	
企業・団体等名	
（よみがな）	
氏名	
電話番号	
メールアドレス	

第４回　インフラメンテナンス大賞に以下の件を応募します。

【応募部門】

応募する部門を１つ選んで「○」を記入してください。（複数選択不可）

	ア	メンテナンス実施現場における工夫
	イ	メンテナンスを支える活動
	ウ	技術開発

【応募者名】

（よみがな）	

【応募する取組名】

（よみがな）	

※下記は事務局使用欄ですので、何も記載しないでください。

受付年月日	令和　　年　　月　　日
登録番号	
備考	

第4回インフラメンテナンス大賞　応募様式－2
取組概要

応募部門			
該当する分野	主分野（必須）		
	副分野1（任意）		
	副分野2（任意）		
（よみがな）			
応募する取組名			

取組のPR
1　取組の概要 ・当該取組の内容を簡潔に把握できるような概要を200字程度で記載してください。（受賞時にパネル紹介等において引用）
2　具体的に優位な点 ・当該取組について、最も優れている点、最もPRできる点について、簡潔に記載してください。（受賞時にパネル紹介等において引用）
3　活動状況・活用事例・効果等 ・これまでの活動状況・活動事例、具体的な効果について、簡潔に記載してください。
4　図・写真 ・活動状況・活用事例・効果等がわかる図や写真を添付してください。（掲載点数は最大3点とし、各データにタイトルなど説明キャプションを加えてください）

第4回インフラメンテナンス大賞　応募様式－3
応募者情報

1　応募者

・既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。
・同一の代表者及び同一活動グループに対して複数の表彰は行いません。
・禁固刑以上の刑歴を有する者及び社会通念上不適切と思われる者又は組織は受賞対象から除外します。

代表者	氏名		（よみがな）
	（よみがな）		
	企業・団体等　名称		
	所属		
	役職		
	取組に関わった期間		
	具体的に関わった内容		
	企業・団体等　所在地	〒　　－	
		住所	

活動グループの代表者以外の構成員（6名以内）
・代表者以外の構成員も応募資格は代表者と同じです。
・活動グループの構成員は同一の企業、事務所、部署等に所属している必要はありません。

①氏名（よみがな）		（よみがな）
（よみがな）		
企業・団体等　名称		
所属		
役職		
グループ内の役割		
取組に関わった期間		
具体的に関わった内容		
企業・団体等　所在地	〒　　－	
	住所	
②氏名（よみがな）		（よみがな）
（よみがな）		
企業・団体等　名称		
所属		
役職		
グループ内の役割		
取組に関わった期間		
具体的に関わった内容		
企業・団体等　所在地	〒　　－	
	住所	
③氏名（よみがな）		（よみがな）
（よみがな）		
企業・団体等　名称		
所属		
役職		
グループ内の役割		
取組に関わった期間		
具体的に関わった内容		
企業・団体等　所在地	〒　　－	
	住所	

④氏名（よみがな）			（よみがな）
（よみがな）			
企業・団体等　名称			
所属			
役職			
グループ内の役割			
取組に関わった期間			
具体的に関わった内容			
企業・団体等　所在地	〒	ー	
	住所		
⑤氏名（よみがな）			（よみがな）
（よみがな）			
企業・団体等　名称			
所属			
役職			
グループ内の役割			
取組に関わった期間			
具体的に関わった内容			
企業・団体等　所在地	〒	ー	
	住所		
⑥氏名（よみがな）			（よみがな）
（よみがな）			
企業・団体等　名称			
所属			
役職			
グループ内の役割			
取組に関わった期間			
具体的に関わった内容			
企業・団体等　所在地	〒	ー	
	住所		

2　技術開発の体制（ウ部門の場合のみ記入）
・応募者が技術開発の主体であることがわかる体制図（企画、設計・デザイン、実証、共同研究等の役割及び委託関係がわかるもの（データ入力、印刷など創造性と関係無いものは除く。））を記載、又は添付してください。（掲載点数は1点とし、データにタイトルなど説明キャプションを加えてください）

第4回インフラメンテナンス大賞　応募様式－4
取組詳細

1　インフラメンテナンスの取組の背景、目的等
・今回応募の取組を実施した背景や目的等について記載してください。

2　主な受賞歴及び他の表彰制度への応募状況
・当該取組に係る中央省庁、自治体、業界団体等の受賞歴について、受賞されたものをすべて記載してください。
・表彰年月日、表彰名称、表彰業績名、表彰主催機関など、正確に記載してください。
・本応募を除き、現在応募中のものも記載してください。

（記載例） ・（西暦）〇〇年〇月〇日　〇〇〇〇〇〇表彰「〇〇〇〇の取組」（一財）〇〇協会

3　応募案件の詳細（全部門共通）
以下の項目について、明記してください。

3－1　着眼点
（革新性・独創性）
・取組や技術開発の着眼点、目的、手法、構成等について、開発時期又は現時点までにおける、これまでに無い新しい部分や創意工夫がある部分について、その革新性や独創性、応募者自らによるものであること、他に類似例がないこと等を具体的かつ詳細に記載してください。

3－2 取組姿勢
（積極性・継続性）
・応募する分野（主分野1、副分野最大2）における取組や技術開発についての実績について具体的な場所、施設名、工事名等を記載してください。

・取組や技術開発の取組姿勢において、重要な課題、困難な課題等の解決に向けて、積極的に取り組んだ内容、取組や技術開発における成果が活用された実績の期間や経緯等がわかるように具体的かつ詳細に記載してください。
・継続的・安定的な効果を確保するために実施している取組について記載してください。
・継続性はこれまでの実績について評価しますが、今後の計画についても、契約や公表等によりその内容や期間等が実効性があると認められる場合には、継続性があるものとして評価します。
・実績の時期は問いません。
・施主（発注者）がいる場合はあわせて記載してください。
・応募内容と分野の実績は一致するようにしてください。

・実施現場以外の研究・実験・試験施設等での実績やインフラメンテナンス分野以外での実績は認められませんのでご注意ください。

・実績の記載が無い場合（実績が確認できない場合も含む）や応募内容と分野の実績が異なる場合、分野の取組から選定される大臣賞の受賞対象となりませんのでご注意ください。

主分野	

副分野①	

副分野②	

3－3 効果
・応募内容において重視する評価の観点を以下の2つから1つを選択してください。

■ ・効率性
■

（生産性・効率性）
・取組や技術開発について、その目的に照らし、どのように業務効率、性能・品質、安全性、コスト縮減等の生産性・効率性が向上し、どのような効果があったか、具体的かつ詳細に記載してください。
（地域貢献度）
・取組や技術開発において、どのように管理者の維持管理の質の向上、地域活性化や地域コミュニティの維持が実現し、地域に貢献したか、具体的かつ詳細に記載してください。
・地域住民や地元企業等と連携している場合は、連携している内容について具体的かつ詳細に記載してください。

（記載例）
・本取組によって、〇〇の処分費が必要なくなり、従前と比べて〇%維持管理コストが削減された。
・本取組によって、恒常的に〇〇が適切に維持された状態となったことにより、〇〇の異状を早期に発見できるなど、〇〇の管理がしやすくなった。
・本取組は、〇〇があればどの地域にも適用可能であり、本取組を参考として、〇〇地域や〇〇地域で活動が始まった。

3－4 外部効果
（メンテナンス分野への波及効果・影響）
・取組や技術開発が他の施設管理者や他地域への波及、市場における普及、メンテナンス産業の活性化、多様な主体との連携の拡がり、担い手育成、学術や技術の発展、メンテナンスの理念の普及等にどのように貢献しているか具体的かつ詳細に記載してください。

・当該取組への参加者の状況、販売・施工実績等について記載してください。

（記載例）
・本取組には、〇〇や〇〇など、さまざまな分野の企業・団体が参加している。
・本取組により、〇〇を初めて活用し、これを受けて〇〇において、〇〇の利用がはじまった。
・〇〇企業と連携して、〇〇のイベントをH〇年〇月〇日に開催（参加者〇名）するなど、他の組織との連携を図っている（H〇年〇月〇日〇〇新聞掲載）。
・本取組への参加者が、H〇年度　〇人、H〇年度　〇人、H〇年度　〇人と増えてきている。

4 概算費用について
4－1 本応募案件の取組や技術開発に要した概算費用
概算費用について、「①総額費用」「②単年度費用」のいずれかに記入してください。
※①は、複数年に渡る研究開発や新たな手法・体制の導入等の場合を想定しております。
※②は、定期的な市民活動や人材育成等の場合の直近の単年度概算費用を想定しています。

①総額費用（円）	
期間	費用
約〇年	約0,000,000円

②単年度費用（円/年）
約0,000,000円

第4回インフラメンテナンス大賞　応募様式－5
取組詳細（技術開発）

1　技術区分

該当する番号に○を付けてください（2つまで重複可とし、それ以上の場合は「8．共通」に○を付けてください）。ただし、その他に該当する場合は、（　）内にその適用分野又は技術区分を具体的に記載してください。

1．調査・計測　2．計画・設計　3．施工　4．維持管理　5．材料・製品 6．機械　7．電気・通信　8．共通　9．その他（　　）

2　建設技術審査証明事業及び港湾関連民間技術の認定審査・評価事業等（取得されている場合のみ）

取得技術名称：	
取得会社名：	
実施機関名：	
認定番号：	
証明年月日：	年　月　日

3　NETIS登録番号

応募技術が、国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS:New Technology Information System）に登録されている場合は、その内容を記載してください。

登録技術名称	
開発会社名	
登録番号	
申請年月日	年　月　日

4　特許権・実用新案権等

・応募技術に係わる特許権及び実用新案権については、該当する番号に○を付け、「1」又は「2」の場合は、すべての案件を記載してください。（用紙は適宜追加してください。）

特許権	1．取得　2．出願中・公開中　3．無し	
	件名	
	発明者	
	出願人	
	日付	
	番号	
実用新案権	1．取得　2．出願中・公開中　3．無し	
	件名	
	考案者	
	出願人	
	日付	
	番号	
その他	1．意匠権　2．商標権　3．その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利	
	件名	
	出願人	
	日付	
	番号	

第４回インフラメンテナンス大賞　応募様式－６
取組詳細（その他）

＜取組の詳細＞
・当該取組の具体的な情報がわかる外形的な情報（仕様、カタログ、図面、写真等）について添付してください。（掲載点数は1点とし、データにタイトルなど説明キャプションを加えてください）

第４回インフラメンテナンス大賞　応募様式－７
再応募関係資料

１　過去のインフラメンテナンス大賞応募時の取組名

２　応募内容の変更・改良点等

過去の応募時の内容との変更点が分かるように、変更した内容について記載してください。

過去の応募時の内容	今回の応募内容

令和　　年　　月　　日

第４回インフラメンテナンス大賞　応募様式－８

応募要件確認書

（応募する取組名称）

第４回インフラメンテナンス大賞の応募内容について

応募する取組について

1　既に国家栄典（叙勲・褒章）を受けている候補者
2　受賞後に応募内容を開示すると問題があるもの
3　他の特許等の侵害及び係争中
4　禁固刑以上の刑歴を有する候補者
5　暴力団関係者（暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）又は暴力団（同法第2条第2号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と密接な関係を有する者をいう。）である候補者
6 その他虚偽の記載等の不正な行為

はないことを申告します。

【応募者（グループの場合は代表者）】

〒

住所

企業・団体等名

代表者（氏名）　　（印）

注）代表者の直筆の署名をお願いします。